

日本数学会教育委員会からの報告

【教育委員会】

日時：2014年9月27日（土）12:30～14:00，場所：広島大学総合科学部 K棟 K204

7月からの新任委員もいることから自己紹介を行った。次の様な議論があった。

- 落合卓四郎数学教育学会会長から舟木日本数学会理事長へ、数学教育学会会員が教育委員会にオブザーバーとして参加したい旨の申し入れがあり、理事長から検討するよう指示があった。委員会でメールにて協議した結果、
 - ・ オブザーバー参加は日本数学会会員に限る。
 - ・ オブザーバー参加については事前にご連絡いただいた上で検討する。
 - ・ 来年7月からの教育委員として、数学教育学会から同会会員の委員を推薦していただく。

との方針を回答し、理事長、落合数学教育学会会長の了承を得た。

その後、数学教育学会から、9月の教育委員会においては、同会執行理事の峰村勝弘氏（日本女子大学）がオブザーバー参加したいとの連絡があり了承した。これに従い、9月27日の委員会には峰村氏がオブザーバー参加した。

- （報告）国際数学オリンピックが南アフリカで開催され6名が参加した。金4個、銀1個、銅1個と全員メダル獲得。国際順位は中国、アメリカ、台湾、ロシアに続く5位（過去2番目の好成績）。また今年からEGMO（ヨーロッパガールズ数学オリンピック、4月）に参加し、参加4名中、銀1個、銅2個の成績（国別順位は出ない）であった。来年も参加する予定である。
- 6月に行った各大学のICTの状況についてのアンケート結果について、高橋副委員長から説明があった。今回のアンケートは大学宛のものと部局宛のものが混在しているが、リソースが有るとの回答は54、無いとの回答は28であり、専門基礎の内容が多く、公開不可としている所が多い。アンケート結果については、「数学通信」に掲載する。その際、自由記述の部分は代表的な意見を掲載する。数学会のホームページでリソースにリンクを張る、あるいは紹介を行うと、数学会が内容をオーソライズしたものと受け止められる可能性がある。どのような目的でどう扱うかを教育委員会で検討し、ホームページでのリンクなどを進めるにあたっては、理事会に文章で検討依頼をすることとなった。

- 6月に理数系学会教育問題連絡会が、シンポジウム「これからの理数系教育を考える」を開催する方針を出し、連絡会参加各学会に主催者としての参加を呼びかけた。これについて委員会でメールにて審議し、平行して理事会でも議論があった。その結果、日本数学会は主催者として参加せず、資料提出のみを行うこととした。また、教育委員会での協議の結果、数学会が参加していないことが明らかとなるよう、シンポジウムパネリストの所属学会、所属機関の明示をお願いすることとした。さらに、資料としては、2012年2月21日付けの『『大学生数学基本調査』に基づく数学教育への提言』（日本数学会）の全文、同調査の報告書のURL、2006年3月に発表された「次期学習指導要領に対する算数・数学教育を中心とした要望」（日本学術会議第19期数学教育小委員会編集）のURLを提出することとした。なお、このシンポジウムは10月26日（日）13:20～16:40 学術総合センター一橋講堂で行われ、主催者によると参加者は87名であった。
- 9月27日（土）には、教育委員会有志企画による「次期学習指導要領に関する情報交換および勉強会」が行われた。（担当：宇野）
- 来年3月の学会でのシンポジウムについて：日本学術会議数理科学委員会数学教育分科会が9月2日に発表した「グローバル化社会における日本の算数・数学教育への提言に向けて」と題する記録をもとに議論を行う場としてシンポジウムを開催することとした。（担当：真島委員）
- 教員養成系大学で教科専門の教員を減らす動きがある。そうになると数学を専門とする教員が減ることになる。パブリックコメントが求められているので、意見表明していただきたいとの提案があった。

文責 教育委員会委員長 宇野